

平成28年度  
前橋市教職員全体研修(75分)

## 教室でできる特別支援教育

一緒に考える75分にしましょう!

名城大学大学院  
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.5.9

## 現代の子ども像と支援の基本方針

- 自分にOKと言えなければ、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできなければ他者は尚更大切にできない  
自尊感情(自己評価の感情)を育もう!
- 他者とかかわる技術・コツがなければ他者を大切にできない  
ソーシャルスキルを育もう!

キーワードは自尊感情とソーシャルスキル  
どちらもかかわりの中でしか育たない  
人が人になるには人が必要

学校存在の意義がここにある!

## 先生方の言葉に学ぶ 教室でできる特別支援教育

- 周りの子を育てたら、気になる子も一緒に育った
- A男を支える周りの友だちの力は、教師一人の支援をはるかに超える
- 周りの子たちの協力がなければB男は育たなかった

「ハンカチ」理論

ハンカチのほつれた糸を持ち上げても、糸が切れハンカチは持ち上がらない。ハンカチ全体を持ち上げれば、糸も上がる (親野「叱らないしつけ」より)

## 現代の子ども像と教室でできる特別支援教育

自尊感情 & ソーシャルスキルが乏しい子どもたち

学級の気になる子の存在がクローズアップ

教室でできる特別支援教育「王道」3Step

Step1. 気になる子の理解  
Step2. 学級集団の理解  
Step3. 全ての子の自尊感情とソーシャルスキルの育成

ユニバーサル(普遍的)な教育が可能となる

「ちゃん学級」がインクルーシブ教育を推進する

## Step1; 気になる子の理解

~知らないでは済まされない!!~

- ユニバーサルな保育・教育のために、発達障害の可能性のある子の理解は欠かせない

小中通常学級に % (2012) \*文科省調査

- I think の前には理論が必要(國分)・障害理解 & 支援の基本理論をおさえてはじめて、個に応じた具体的支援が見えてくる

「自閉症だった私へ」「自閉症の僕が跳びはねる理由」等にもヒント

## ASDへの支援の「王道」

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手な禁止、注意
- 文化に寄り添う

感覚の過敏性 (例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等  
字義性 (例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あそこの角を曲がらないと帰れないよ~

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

### 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止(法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止(国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行

特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

7

### Step2; 学級集団の理解 ~学級が「居場所」になれば、学習指導、生徒指導、特別支援教育が機能する~

- 「居場所」の2条件(園分、河村)
  - ・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

だから、まずはルール確立!

8

### Step3; 自尊感情 & ソーシャルスキル育成

- 学級・授業づくりの中、「ルール・ふれあいづくり」を通して、**自尊感情 & ソーシャルスキル**を育む

＜ルールづくり＞ 主に、**ソーシャルスキル**育成

＜ふれあいづくり＞ 主に、**自尊感情**育成

9

### ルールづくりは「2本のアンテナ」で!

「話を聴く」というルール & スキル育成は?

- **ルール違反**を見逃さないアンテナによる感知 & 対応
  - ・対決 メッセージ;
  - ・対決 メッセージ;
  - ・「?」の問いかけ;
- **ルール遵守**を見逃さないアンテナによる感知 & 対応
  - ・肯定 メッセージ;
  - ・肯定 メッセージ;
  - ・認めるサイン提示;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要!

10

### 年齢・発達段階 & 障害特性への配慮とは

伝わるように言葉をかけましょう!

- 私たちがよく使う「褒め言葉 & 注意」はどのような子どもに効く・効かないのか? 「境」は10歳 or **思春期**
- 子どもは褒めれば育つのか? 「境」以降はなじまない。「落とし穴」もあり!

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に!

知識・理論・技法 ← お薦め! アイメッセージ & 勇気づけ

障害特性への配慮は先の資料参照(例; ASD)

11

### ふれあいづくりは「縦系」 & 「横系」を織り上げる

- 縦系; 教師と子どもを結ぶ系
- 横系; 子ども同士を結ぶ系

縦系 & 横系を紡ぎ、学級という「機」を織り上げましょう!

学級づくり = 機織り このイメージがなじみます

12

### 教師と子どもの「縦系」を織るワザ

主に自尊感情へのアプローチ

- 全ての子どもに「ボール」を投げる

気になる子は「褒められ、叱られ、」「ボール」を「グローブ」で比較的多く受けている。周りの子は？  
気になる子には、学校全体で「ボール」を投げよう！

- 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、**褒める・勇気づける・認める**

大好きだったなあ、「ハングル少年」のA君。（今、君に感謝！！）

関係づくりの第一歩は相手への関心から

13

### 子ども同士の「横系」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

- 1週間に一度、10分程度でできる「シンプル＆面白い」グループアプローチを活用する

**ふれあいづくりに向けた「打ち上げ花火」**

<お薦め演習>  
・二者択一  
・アドジャン

学校生活の様々な場面でスキルの強化&般化

愛知県刈谷市立依佐美中の実践が秀逸！ \*配布資料参照

「王道」ステップ ワン・ツー・スリー（文溪堂）として発刊！

14

### プラス 自尊感情育成

思春期の子ども&私たち大人に

- 友だちの声を使う
- 陰ぼめを使う

自分にOKと言えない人は、他者には尚更OKとは言えない。自分を大切にできない人は、他者は尚更大切にできない。だからこそ、**自尊感情(自己評価の感情)**を大切に！  
頑張っている自分・仲間に「OK」と言おう！

まずは、**私たち自身にOKと言うことから始めよう！**

15

### プラス ソーシャルスキル育成

言い続けましょう！

- 気持ちのよい挨拶
- 丁寧な言葉づかい(話の仕方)
- ありがとう&ごめんね
- 話の聴き方(傾き、視線、あいづち)
- 笑顔

「**打ち出の小槌**」は、振ることによって様々なものを出せるという**伝説の小槌**。生徒が、「先生、あのね」と言ってきたとき、「なるほど」等、首を縦に振る「**傾き**」は、生徒と教師の間に「信頼」「安心」を生み出す、**現実の「打ち出の小槌**」。

傾きという「小槌」を振ろう！（打ち出の小槌理論！？）

16

### おわりに

~皆さんに伝えられる・伝えたい3つのこと~

- 一つだけでは多すぎる
- 学び続けることは教師の「職業倫理」
- 今、見ている景色も楽しむ

また、お会いしましょう！

17

### 主な参考文献

- 「自閉症だった私へ」、ドナ、ウィリアムズ、新潮文庫
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」、杉山登志郎、学研
- 「**親業**」、トマス、ゴードン、サイマル出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアブロー-学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「**気になる子への支援のワザ**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になる子が溶け込む授業のしかけ**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になる子の保護者への支援術**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**気になるたち、理解教育の基本**」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「**子どもに学んだ “王道” ステップワン・ツー・スリー**」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては「王道ステップ」にまとめました！

HP;「KAZU・和・POCKET」

18

参考

### 自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害  
(DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

**PDD (広汎性発達障害)**  
\* 社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害 (\*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD (\*非定型自閉症と同義)

DSM- では PDDの診断名

19

参考

### 基礎的環境整備と合理的配慮の項目

□ 基礎的環境整備8項目 国、都道府県、市町村

「専門性のある指導体制の確保」、「専門性のある教員、支援員等の人的配置」、「施設・設備の整備」、「交流及び共同学習の推進」等

□ 合理的配慮3観点11項目 学校の設置者、学校

1. 教育内容・教育方法: 「学習上または生活上の困難を改善・克服するための配慮」、「心理面・健康面の配慮」等
2. 支援体制: 「専門性のある指導体制の整備」、「災害時等の支援体制の整備」等
3. 施設・設備: 「校内環境のバリアフリー化」等

20

参考

実践事例データベース活用を!

21

参考

依佐美中実践の全てがここに!

22